



レッスン7： 完成したムービーを見る

「iMovie」プロジェクトが完成したら、プロジェクトを最終的なムービー形式で書き出す必要があります。複数のムービー形式から、ムービーの再生やほかのユーザとの共有方法に合わせて形式を選択します。以下の作業を行うことができます。

- Web 上に公開する
- メールメッセージで送信する
- DVD を作成する
- DV テープに保存して、テレビで観賞したり、VHS テープなどのほかの形式に変換できるようにする

どのムービーを見る方法を選択しても、「iMovie」を使えば簡単に正しい形式のムービーファイルを作成できます。最終的なムービーの作成を、ムービーの書き出しといいます。

始める前に

このレッスンでの作業を進めやすくするために、始める前にレッスンの内容をプリントしておいてください。

このレッスンや「iMovie ヘルプ」の作業の多くでは、メニューコマンドを選択する必要があります。これは次のように表記されます。

「編集」>「切り出し」と選択します。

最初の用語は、選択する「iMovie」のメニューバーのメニューをさします。次に続く用語（複数の場合もあります）は、そのメニューから選択する項目です。

DV テープに書き出す

最終的なムービーを DV テープにデジタルビデオの RAW 形式で保存します。このフォーマットでは、元のビデオの画質がそのまま、撮った時と同じ状態に保持されます。一度ムービーをコンピュータから書き出してテープに戻せば、ムービーをデジタルカメラで見ることも、テレビとデジタルカメラを直接接続してテレビで見ることもできます。

ムービーをテープに書き出して戻すには：

- 1 FireWire ケーブルを使用して、ビデオ画像をハードディスクに読み込んだときと同様に、デジタルカメラをコンピュータに接続します。(ビデオを「iMovie」に読み込む方法については、レッスン 1 の「ビデオを iMovie に取り込む」を参照してください。)
- 2 カメラに新しい DV テープ(または上書きしても構わないテープ)がセットされていることを確認して、カメラを VTR モードにしてください。
- 3 「ファイル」>「ムービーの書き出し」>「カメラへ」と選択します。
- 4 フィールドに、ムービーを書き出す前にコンピュータが待機する時間を入力します。テープのムービーの前後に黒い画面を追加するかどうか指定することもできます。
- 5 「書き出し」をクリックします。

ムービーの書き出しが完了したら、テープをほかのデジタルテープと同じように使用できます。

参考：ビデオカメラに録画できない場合は、テープが書き込み禁止になっていないかどうかを確認してください。または、PAL 形式の装置をお使いの場合、FireWire 入力が無効になっている場合があります。詳しくは、装置のメーカーに問い合わせてください。

iDVD 用に書き出す

「iMovie」は DVD の作成に最適なムービーを簡単に作成できます。

iDVD 用に書き出すには：

- 1 「iDVD」ボタンをクリックして iDVD パネルを開きます。
- 2 「iDVD プロジェクトを作成」をクリックします。

書き出されたムービーが iDVD の「ムービー」パネルに表示されます。

ムービーを圧縮して書き出すには少し時間がかかります。(かかる時間はムービーの長さによります。)書き出し中は、コンピュータのほかのタスクを使用しないことをお勧めします。

ほかの表示形式用に書き出す

DV テープへの書き出しを除くすべての表示形式は、すべて QuickTime 形式のムービーになりますが、使用目的によってサイズが異なります。たとえば、メールでムービーを送信する場合には、非常に小さいサイズの QuickTime ファイルにするとよいでしょう。

QuickTime に書き出すには：

- 1 「ファイル」 > 「書き出し」と選択します。
- 2 「書き出し」ポップアップメニューから「QuickTime 形式」を選択します。
- 3 「形式」ポップアップメニューからオプションを選択して「書き出し」をクリックします。
- 4 ムービーファイルの名前を入力して保存先を選択します。
- 5 「保存」をクリックします。

ムービーを圧縮して書き出すには少し時間がかかります。書き出し中は、コンピュータのほかのタスクを使用しないことをお勧めします。書き出しにかかる時間は主にムービーの長さによりますが、最終的なムービーファイルをどの程度小さくするかによっても異なります。ムービーファイルを小さくするほど圧縮に時間がかかります。

書き出したムービーは QuickTime ファイル形式です。コンピュータの画面でムービーを見るには、Finder でムービーファイルをダブルクリックします。



QuickTime の高度な書き出し設定

プリセットの書き出しオプションの 1 つが上手く動作しない場合は、独自の QuickTime 圧縮設定を使用し、ご自分の要望に最も合ったビデオ出力を得ることができます。

カスタムの圧縮設定を適用するには：

- 1 「ファイル」 > 「書き出し」と選択します。
- 2 「書き出し」ポップアップメニューから「QuickTime 形式」を選択します。
- 3 「形式」ポップアップメニューから「詳しい設定」を選び、「書き出し」をクリックします。
- 4 書き出し形式のタイプを選択して「オプション」をクリックします。

カスタムの圧縮設定を試すには、いくつかの注意が必要な点があります。

- MPEG-4 は、Web 上での表示に使用される現在の標準コーデック（圧縮／復元形式）です。MPEG-4 コーデックのオプションを表示するには、QuickTime 6 以降が必要です。

- ムービーを古いWindowsシステムで見られるようにするには、Motion JPEG コーデックを使用する必要がある場合があります。
- ムービーの画質を高めるには、ムービーを「Sorenson Video」圧縮形式で書き出します。この形式は、比較的高品質なままでムービーサイズを縮小します。
- 一般に、ファイルサイズとビデオの再生画質のバランスが最もよい設定を選択します。
 - はじめに、希望するムービーフレームサイズを選択します。フレームサイズは、ムービーファイルのサイズを決定する上で一番大切な要素です。
 - 次に、キーフレームの数を設定します。フレーム数を少なくすると（たとえば10フレームごと、など）、ファイルサイズが大きくなりますが高品質なムービーが作成できます。
 - 最後に、フレームレートを設定します。フレームレートを12フレーム／秒以上に設定すると、ビデオ再生が途切れ途切れになることがあります。